



21世紀を生き抜く
確かな情報力を

Faculty of Social and Information Studies, Gunma University

平成28年4月 群馬大学社会情報学部が
生まれ変わりました！

1
今を考え、未来を創る人になる
～キーワードはメディア, コミュニケーション, 情報～

平成28年4月改組・新カリキュラム導入

1. 群馬大学について



- 群馬県にある国立大学法人
- キャンパスは県内に4箇所

□ 前橋市

- 荒牧キャンパス（社会情報学部，教育学部）
- 昭和キャンパス（医学部）

□ 桐生市

- 桐生キャンパス（理工学部）

□ 太田市

- 太田キャンパス（理工学部）



1-1. 社会情報学部とは



- 国立大学唯一の社会情報学部
- 情報科学／人文・社会科学の融合
- 「情報と人間・社会」にかかわる問題を追究して23年

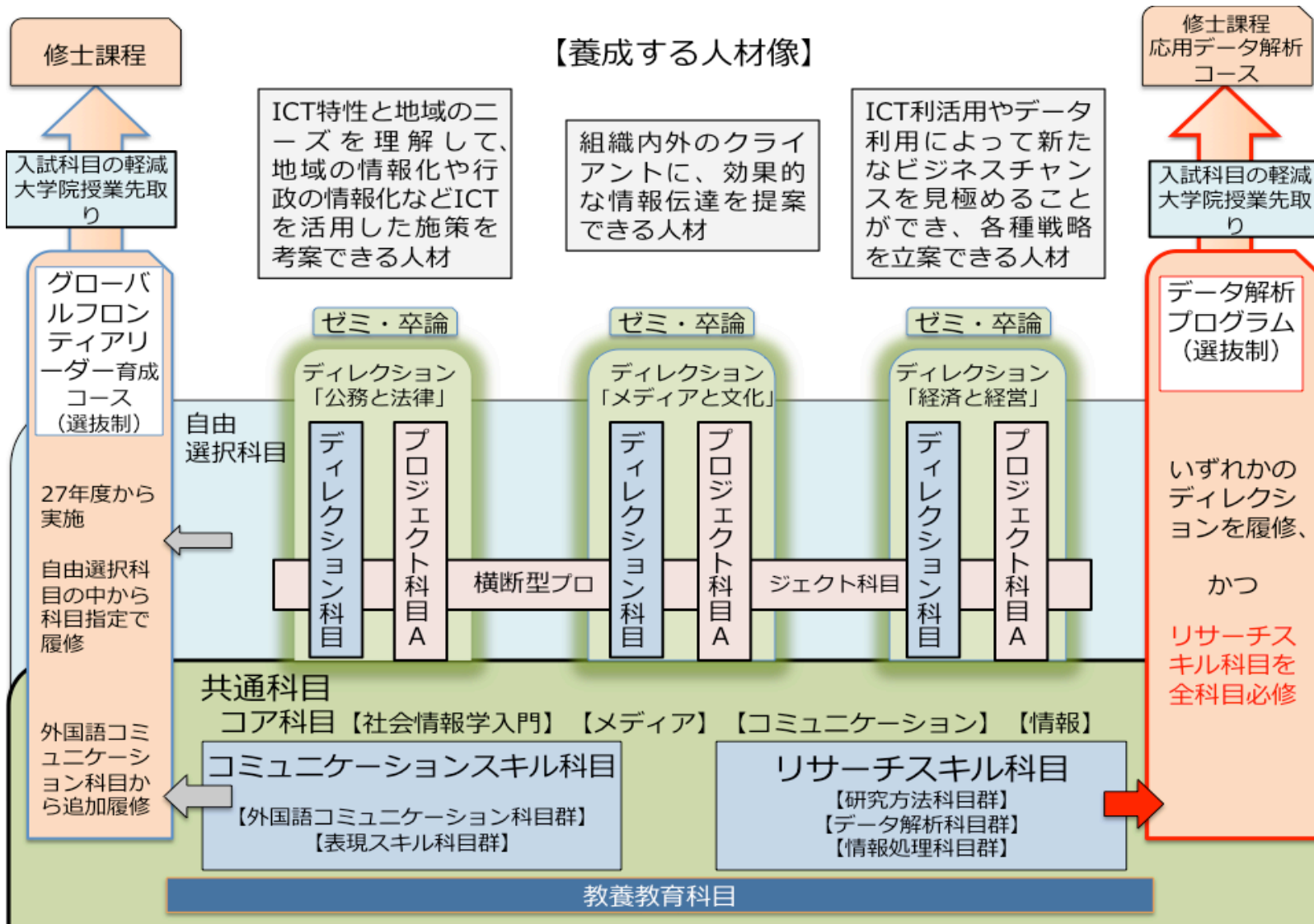
1-2. 学部の今

- 情報化の進展により社会が求める人材像が変化
→ 情報通信技術（ICT）を活用して**社会・組織の革新**を生む人材が求められている
- キーワード：**メディア**，**コミュニケーション**，**情報**
- 高度情報社会の課題を発見し，その解決策を**科学的な思考と実践的な情報処理**や**データの収集・分析**によって提案できる人を養成

1-3. 学科編成と教育の特色

- 社会情報学科の1学科
 - ① 厚い共通科目
 - ② ディレクション制
 - ③ 課題解決型授業 (Project-Based Learning)
 - ④ 選抜型「データ解析プログラム」
選抜型「教育・社情GFLコース」

1-4. 教育課程の概図 (履修概念図と養成する人材像)



1-4-1. 厚い共通科目



- 以下の共通科目群を全ての学生がしっかり学ぶ

① コア科目 (メディア科目, コミュニケーション科目, 情報科目等)

専門教育を支える社会情報学的な思考方法

② リサーチスキル科目

(研究方法科目, データ解析科目, 情報処理スキル科目)

科学的な思考方法と, 実践的な情報処理, データ収集・分析

③ コミュニケーションスキル科目

(外国語コミュニケーション科目, 表現スキル科目)

外国語によるコミュニケーションと, 分かりやすく説明・伝達

1-4-1-1. 具体的な共通科目例

① コア科目

社会情報学基礎論, 情報メディア基礎論,
ソーシャルメディア論, マスコミュニケーション基礎論,
情報倫理

② リサーチスキル科目

研究方法A(事例研究法), データ解析基礎I(統計的基礎),
データ解析A(多変量解析), 情報処理基礎

③ コミュニケーションスキル科目

専門外国語I-A(ディスカッション・ディベート),
論理的日本語表現, イラストレーションデザイン,
動画・音声編集

1-4-2. ディレクション制

- 進路希望に応じた学修を深めるべき方向性を示す
緩やかな履修の枠
- 2年次から学修

① 「メディアと文化」 ディレクション

メディアと文化を理解し、組織内外のクライアントに対して効果的な情報伝達を提案できる人材を養成

② 「公務と法律」 ディレクション

地域の情報化や行政の情報化などICTを活用した施策を考案できる人材を養成

③ 「経済と経営」 ディレクション

新たなビジネスチャンスを経済情報の利活用によって見極められ、各種戦略を立案できる人材を養成

1-4-2-1. ディレクションごとの履修モデル

① 「メディアと文化」 ディレクション

理論社会学, 社会心理学, 社会学的コミュニケーション論, 異文化コミュニケーション論, 言語メディア論, 身体メディア論・・・

② 「公務と法律」 ディレクション

行政学, 公共政策論, 行政法, 政策分析, 地方自治, 企業法, 政策情報論・・・

③ 「経済と経営」 ディレクション

会計学, 経営学, 経営科学, 経営情報論, 経営組織論, マクロ経済学, ミクロ経済学・・・

1-4-3. 課題解決型授業（プロジェクト科目）

- 教室で座って講義を受けるだけでなく、解決すべき課題に実践的に取り組む
新しいタイプの授業形式



- 全員が少なくとも1つの課題解決に取り組む
- 毎年度、課題を見直し、タイムリーな課題を選定

① ディレクションごとの「プロジェクト科目」

（例 情報産業の革新）

② ディレクション横断型「プロジェクト科目」

（例 ソーシャルメディア時代のプライバシー保護）

1-4-4. 選抜型「データ解析プログラム」

- データ解析に興味を持つ学生に提供するプログラム
- データ解析手法を活用できるだけでなく、解析すべき問題を**発見**できる人材を養成

① 集中的履修

いずれかのディレクションを履修しながら、研究方法やデータ解析手法、情報処理スキルを集中的に学修

② 選抜方法・修了証

入学後に選抜を行い、修了後にはプログラム修了証を授与

③ 大学院科目の先取り可

1-4-5. 教育・社情GFLコース

- 教育学部と連携して平成27年度から開始
- 世界に学び，それを地域に展開する能力だけでなく，地域に学び，それをグローバルに展開する能力を持つ人材を養成
- 1年次の夏休み前に，10名を選抜
- 以下2つから構成
 - (1) いずれかのディレクションを履修しながら，関連分野の授業を履修
 - (2) 交換留学などの各種行事に参加

1-4-6. 幅広い自由選択科目

地域メディア論

社会倫理I

意思決定科学

民法I

情報社会と私法

政策分析

自然環境論

生物環境論

人間環境論

生活経済政策

金融論

経済情報論

...



50科目を超える
幅広い自由選択
科目！

1-5. 社会情報学ゼミ（必修）

- 3年次に社会情報学ゼミを履修

- 全員がいずれかのゼミ（研究室）に所属

- 少人数教育



1-6. 卒業研究（必修）

- ゼミの指導教員の指導の下で卒業研究を行い，卒業論文を作成



1-7. その他の特色

— 少人数教育



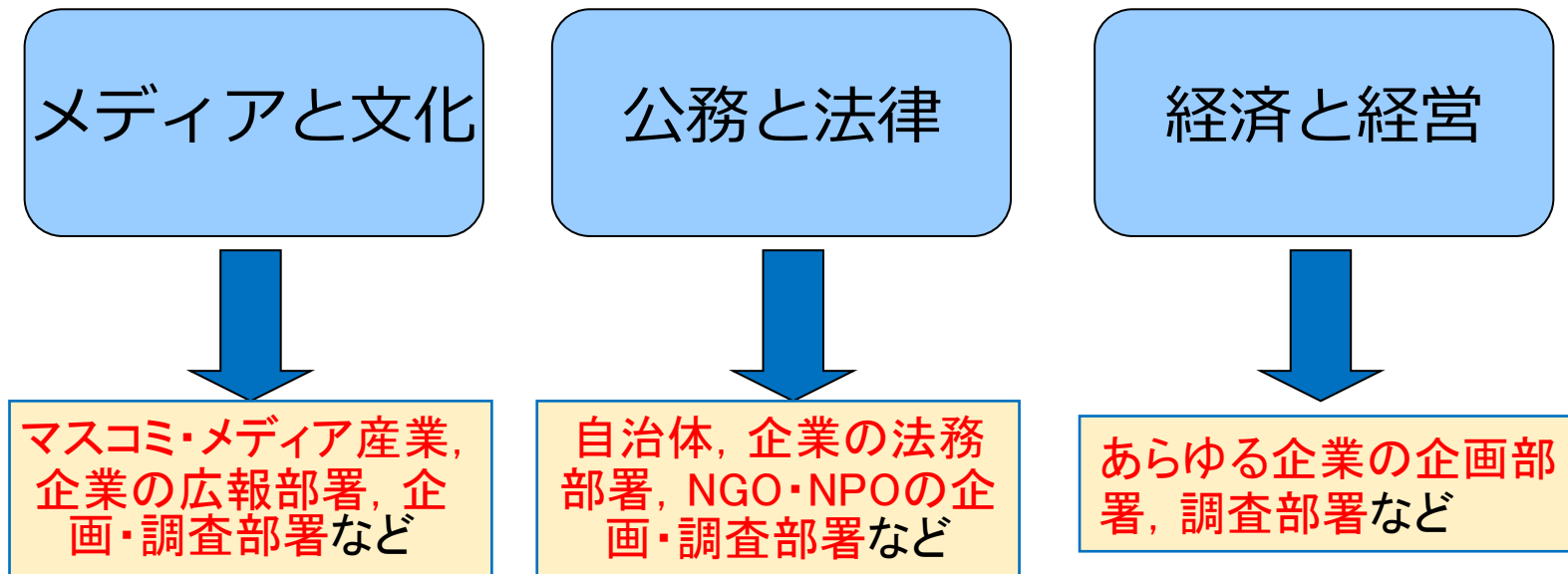
- 学びのリテラシー（1年生・33名程度）
- 社会情報学ゼミ（3年生・数名～10名程度）
- 卒業研究（4年生・数名～10名程度）
- アカデミック・アドバイザー制度
（1～2年生・16名に1名の教員）

学生 ← (近い) → 教員

2. 卒業後の進路

これまでも情報通信，金融，公務員を中心に
確かな就職実績！

〈各ディレクションで予想される卒業後の進路〉

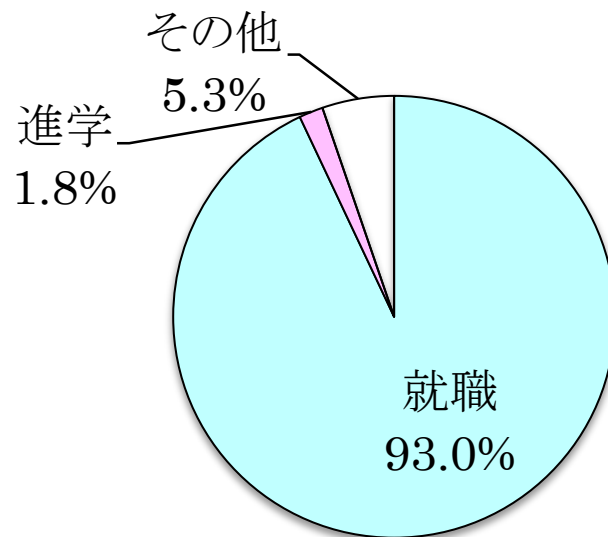


(データ解析プログラム・GFLコース履修者については大学院進学も)

2-1. 卒業生の進路（平成28年度）

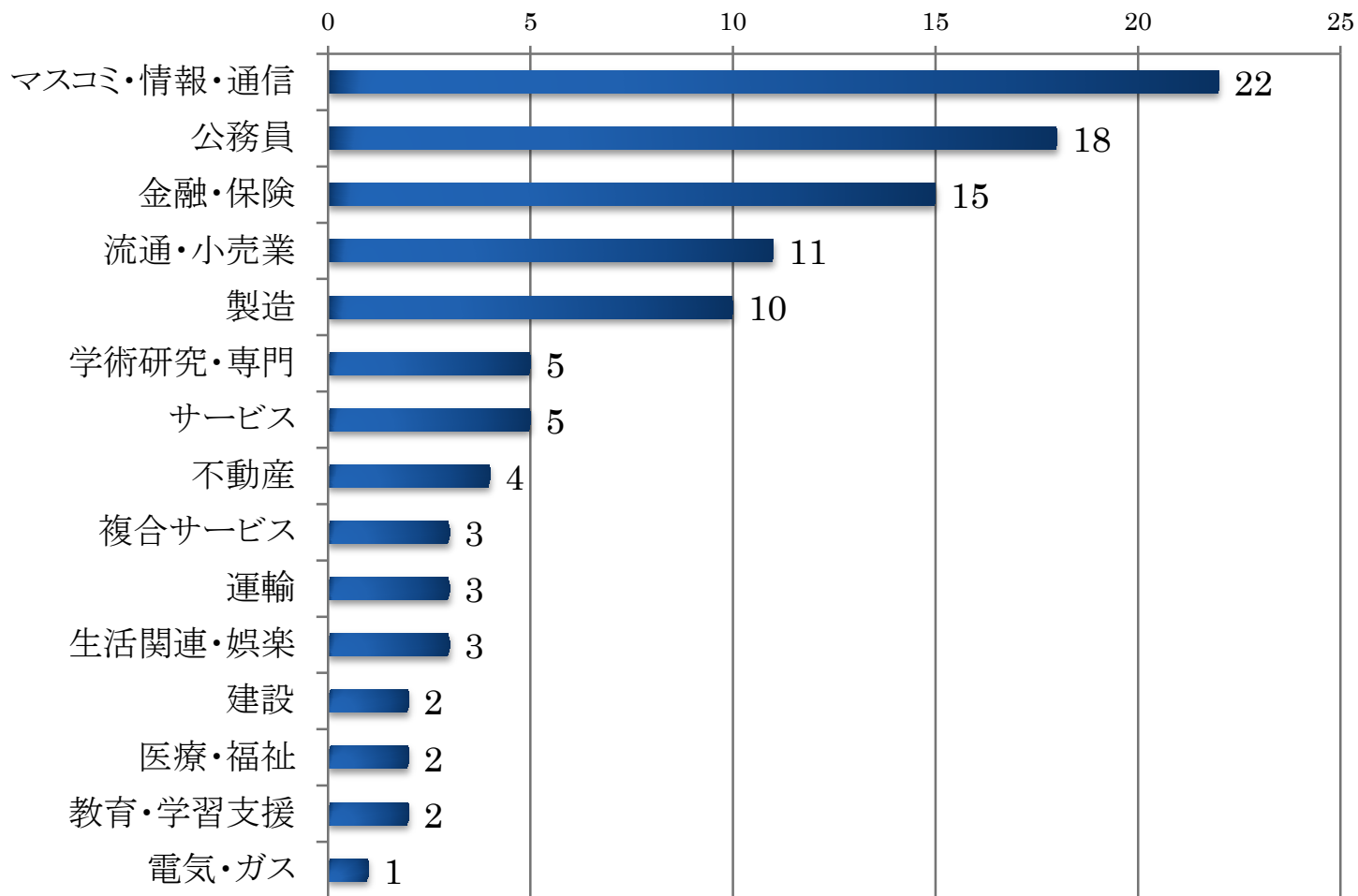
○卒業生114名中

- 進学者 2名
- 就職者 106名（内 企業等 88名, 公務員18名）
- その他（進学準備・資格試験準備等）6名



2-2. 卒業生の就職先（平成28年度）

産業別就職者数



2-3. 就職活動をサポート

○ キャリア教育科目

- 就業力科目
- 長期履修科目
- 連携授業



○ キャリアサポート室に専門職員

- 資料も充実
- 各種セミナー, インターンシップを実施
- キャリアカウンセラーによる相談

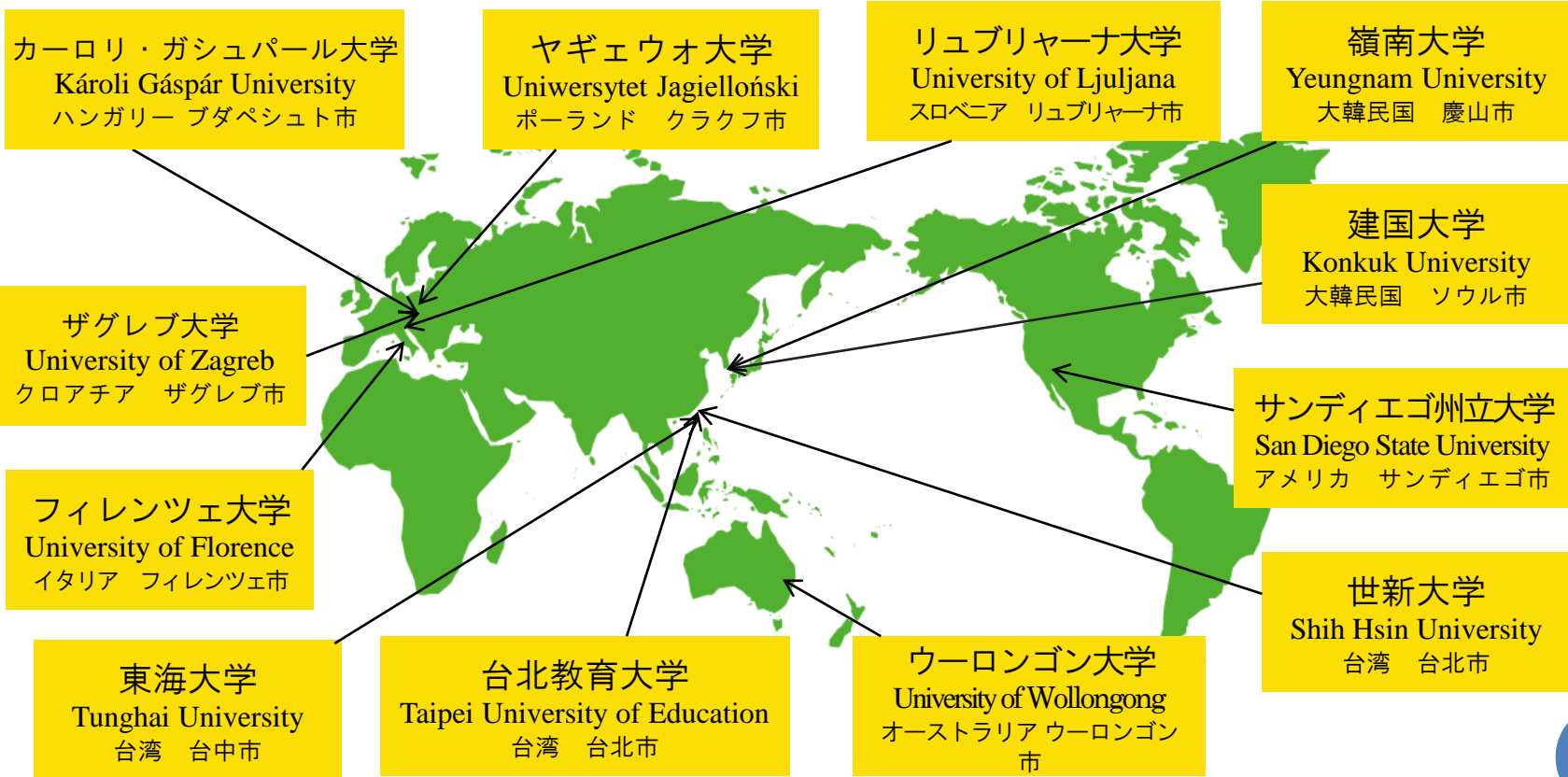
2-4. 群馬大学大学院社会情報学研究科

- 大学卒業後，さらに専門的な研究を2年間続けるコース
- 定員は1学年14名
- 修士論文を作成，
修士号（社会情報学）を取得
- 修了後は各方面で活躍



3. 交換留学プログラム

○ 多くの大学と交流協定



3-1. さまざまな留学先

- 英語圏だけでなく非英語圏に行くチャンスも



ソウル（韓国）



リュブリャナ（スロベニア）



サンディエゴ（米国）

3-2. 直近3年間の派遣状況

2014年：

長期 2名（アメリカ，イタリア）

短期 6名（オーストラリア，アメリカ，スロベニア）

2015年：

長期 2名（アメリカ，台湾）

短期 5名（イギリス，アメリカ，スロベニア）

2016年：

長期 1名（韓国）

短期 6名（イギリス，台湾，オーストラリア）

※資金援助や単位認定など**支援も充実**

3-3. 留学経験者の進路

- 卒業後はさまざまな分野で活躍
- 進学先： 東京大学大学院， 筑波大学大学院， 九州大学大学院， 一橋大学大学院， 早稲田大学大学院， ハル大学大学院（イギリス）， エセックス大学大学院（イギリス）， ニューカッスル大学大学院（イギリス） など
- 就職先： 本田技研工業， 日本通運， 武田薬品工業， 三菱総合研究所， 宇宙航空研究開発機構， JICA， メルコ， 近畿日本ツーリスト， みどり市役所， 日本郵政（JP） など

3-4. 留学への選抜試験

- 選抜試験ではTOEFLも必要に
- 計画的な準備が必要



3-5. 留学 Q&A

Q. 一年生でも行けますか？

A. 学内選考試験を通り，派遣先の大学から留学の許可が必要。2年生からというのが最短コース

Q. 留学すると卒業が遅れますか？

A. 留学先で取得した単位は，一定限度内で卒業に必要な単位としてカウントされます。工夫すれば4年で卒業も可能です。

Q. TOEFLとはどんなものですか？

A. 英語を母国語としない人たちの英語力を測るテストです。現在は，コンピュータ上で受験するTOEFL-iBTが実施されています。内容は，Reading, Listening, Speaking, Writingで，約4時間の試験です。

4. 学生による自主的活動の一部

○パンフレット制作学生委員会

学部紹介パンフレットの取材・編集・レイアウト

○SIJ

情報誌『Social and Information Journal』を発行

○GMA

中学生のネット遊びの見守り活動



5. オープンキャンパス

- 7月9日（日）主に高校1-2年生向け

群馬大学1日体験デー「GU'DAY 2017」

- 7月29日（土）主に高校3年生向け

社会情報学部説明会

学部ホームページで詳細をお知らせします



6. 企業が“評価”する大学ランキング

日経CAREERMAGAZIN特別編集

「受験から就職まで 親と子のかしこい大学選び2015版」から

質問項目

大学の学生のイメージとしてあてはまる項目を選んでください(複数回答可)

行動派	熱意や行動力がある
	リーダーシップがある
	主体性がある
対人力	課外活動に積極的に取り組んでいる
	コミュニケーション能力が高い
	ストレス耐性がある
知力・学力	論理的思考ができる
	地頭が良い
	しっかりと学業に取り組んでいる
独創性	高い教養を身に付けている
	個性がある
	創造力がある
専門性・仕事力	語学力や留学経験がある
	ビジネスの即戦力になる
	高度な専門性を身に付けている



総合ランキング	37位
知力・学力	14位
専門性・仕事力	5位
地域の産業・文化に貢献	6位

6-1. 企業が“評価”する大学ランキング (知力・学力ランキング)

順位	大学名	側面得点	論理的思考ができる	地頭が良い	しっかりと学業に取り組んでいる	高い教養を身に付けている
1位	国 一橋大学	64.3	78.6	78.6	57.1	42.9
2位	国 京都大学	60.9	67.4	76.1	52.2	47.8
3位	国 広島大学	58.8	64.7	58.8	64.7	47.1
4位	国 筑波大学	56.8	81.8	59.1	50.0	36.4
5位	国 名古屋工業大学	56.3	62.5	62.5	62.5	37.5
6位	国 神戸大学	55.8	59.0	64.1	59.0	41.0
7位	国 東京工業大学	55.7	63.6	68.2	59.1	37.8
8位	国 九州大学	54.1	58.1	61.3	58.1	38.7
9位	国 東北大学	53.0	63.6	60.6	51.5	36.4
9位	国 名古屋大学	53.0	52.9	64.7	61.8	32.4
11位	国 大阪大学	52.6	60.4	66.7	50.0	33.3
11位	国 東京大学	52.6	56.4	64.1	48.7	41.0
13位	国 茨城大学	52.3	36.4	72.7	72.7	27.3
14位	国 群馬大学	52.1	41.7	50.0	75.0	41.7
15位	国 千葉大学	51.3	52.6	57.9	57.9	36.8
16位	国 金沢大学	50.0	46.2	61.5	69.2	23.1
17位	国 北海道大学	49.2	55.2	62.1	48.3	31.0
18位	公 大阪市立大学	48.3	40.0	60.0	60.0	33.3
19位	国 横浜国立大学	47.1	35.3	70.6	52.9	29.4
20位	国 電気通信大学	45.8	58.3	33.3	66.7	25.0
21位	私 上智大学	44.6	52.2	56.5	43.5	26.1
21位	国 信州大学	44.6	50.0	50.0	57.1	21.4
23位	公 大阪府立大学	44.1	58.8	47.1	41.2	29.4
24位	私 慶應義塾大学	43.7	49.1	61.8	36.4	27.3
25位	私 東京理科大学	43.5	42.9	47.6	54.8	28.6

しっかりと学業に取り組んでいる
第1位

6-2. 企業が“評価”する大学ランキング (専門性・仕事力ランキング)

順位	大学名	側面得点	語学力や 留学経験がある	ビジネスの 即戦力になる	高度な専門性を 身に付けている
1位	国 東京工業大学	22.7	4.5	13.6	50.0
2位	私 上智大学	21.7	47.8	8.7	8.7
3位	国 東北大学	20.2	9.1	0	51.5
4位	国 名古屋大学	19.6	17.6	5.9	35.3
5位	国 群馬大学	19.4	16.7	8.3	33.3
5位	国 電気通信大学	19.4	8.3	8.3	41.7
7位	国 大阪大学	18.8	16.7	2.1	37.5
7位	国 京都大学	18.8	8.7	6.5	41.3
9位	私 工学院大学	18.5	11.1	11.1	33.3
10位	国 九州大学	18.3	9.7	6.5	38.7
11位	私 慶應義塾大学	18.2	25.5	10.9	18.2
12位	国 東京大学	18.0	12.8	10.3	30.8
13位	国 神戸大学	17.9	17.9	5.1	30.8
14位	私 獨協大学	16.7	50.0	0	0
15位	国 筑波大学	16.6	4.5	13.6	31.8
16位	私 早稲田大学	15.9	22.0	9.2	16.5
17位	国 広島大学	15.7	0	5.9	41.2
17位	私 名城大学	15.7	11.8	17.6	17.6
19位	公 兵庫県立大学	15.4	7.7	0	38.5
20位	私 金沢工業大学	15.2	0	0	45.5
21位	私 南山大学	14.5	34.8	8.7	0
22位	私 東京都市大学	14.3	7.1	7.1	28.6
23位	国 千葉大学	14.1	21.1	0	21.1
24位	国 富山大学	13.9	8.3	16.7	16.7
25位	国 北海道大学	13.8	3.4	3.4	34.5

語学力・専門性・
即戦力性を総合的
に評価された

6-3. 企業が“評価”する大学ランキング (地域の産業・文化に貢献)

地域の産業・文化に貢献している

順位	大学名	得票率
1位	信州大学	64.3
2位	茨城大学	54.5
2位	東京農業大学	54.5
4位	兵庫県立大学	53.8
5位	近畿大学	53.2
6位	群馬大学	50.0
6位	富山大学	50.0
8位	金沢大学	46.2
9位	東北学院大学	45.5
10位	龍谷大学	44.4

大学に集積された「知」を
地域に還元

お待ちしております

